

FONの紹介

2007年8月21日
アクティブSITA勉強会



こんにちは、Hiraki

あなたはFONコミュニティの 303233 番目のメンバーです。

メンバータイプ: linus

2007年2月にメンバー登録しました。

FON(フォン)とは

- 無線LANを利用してインターネットアクセスを会員相互で世界中で共有するシステム。それを提供する企業名。
- 「無料の公衆回線LANを構築しよう」というプロジェクトのようなもの

(ウィキペディアより)

仕組み



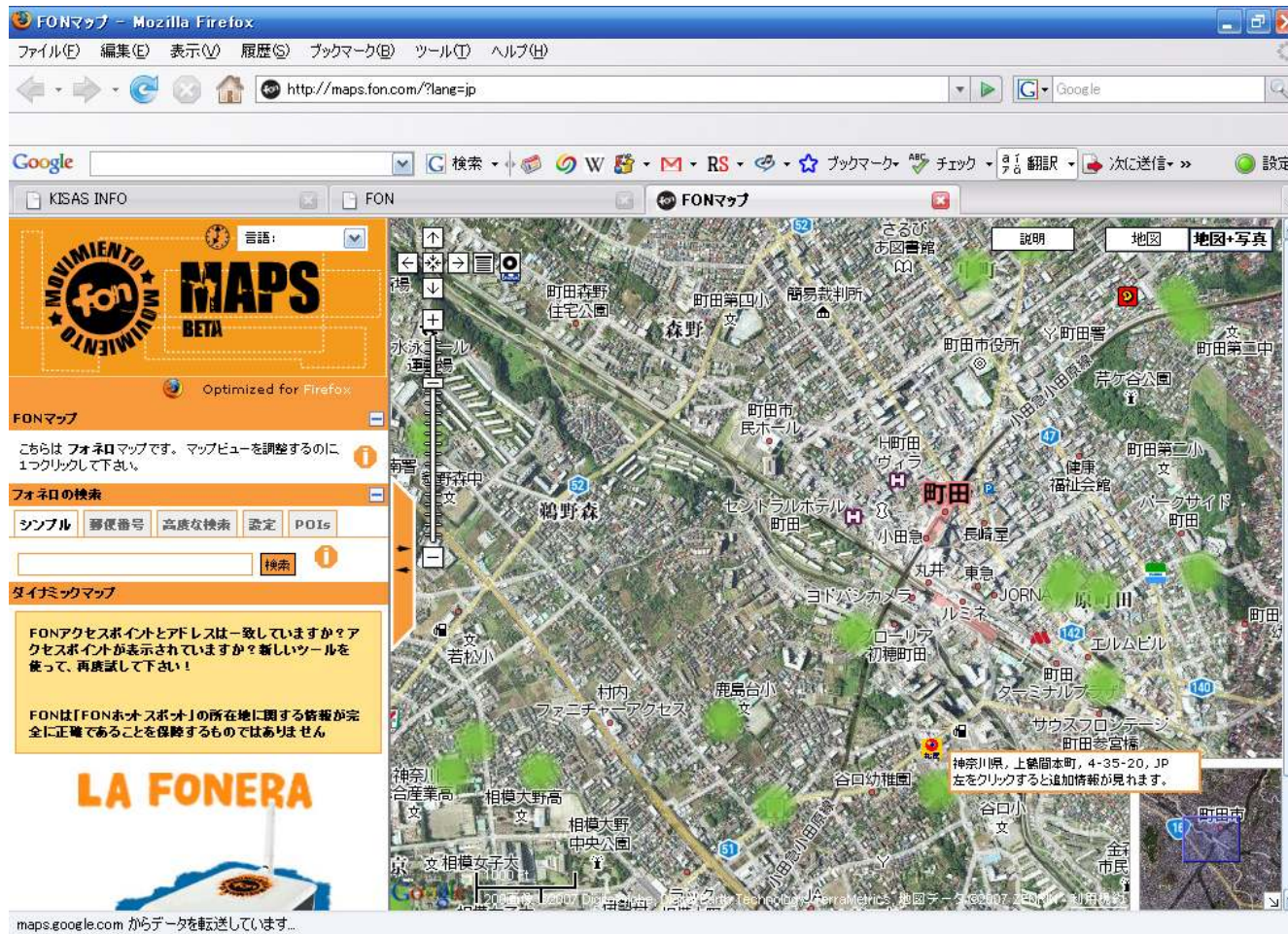
使用中のADSLモデムや光回線の終端装置側に「無線LANルーター」
パソコン側に「無線LANアダプター」を付加して、無線LANを構成する。

利用するための手順

1. FONコミュニティに参加する(入会手続き)。
参加者は**Fonero**と呼ばれる。
2. FONルータを購入する: 九十九電機、ソニースタイル(2007/3/15から)、ネット販売、La Fonera: ¥1,980(税込み)
La Fontenna: アンテナによりシグナルを更に強化し、使用可能範囲を広げることにもできる。
(近日発売予定)
3. 設置、設定(かなり簡単)、FONマップに登録、利用可能なスポットを調べる

FONマップ

JR町田駅近辺のアクセスポイント



FONコミュニティに入るメリット

- 自宅で2つのアクセスポイントを自在に使える
- 公衆無線LANのユーザとして無料で使える
- 世界中で無線LANを利用できる(特にスペインを頂点にEC諸国で有効らしい)
- Googleとの提携効果により、2GB以上のネット上にMy File Storage を持つことができる
(Gspace)2GB/Gmailのフリースペースを自分のファイルストレージとしてネット上に持つことができる。これは「Gmailのスペースを有効活用するもの」という位置づけでGmailで利用スペースを使っていくと残りのファイルスペースはそれだけ少なくなる。Gmailアカウントをたくさん持っていれば、ファイルスペースは無限に増やすことができる。(FirefoxのツールにpluginでGspace)

従来公衆無線LANとの比較

FON	これまでの公衆無線LANサービス
インフラ構築をユーザーに委ねる <ul style="list-style-type: none"> ●フォンは設備投資せず ●ユーザーにインフラ構築を委ねるため、エリアが急拡大する可能性 	自社でインフラ構築 <ul style="list-style-type: none"> ●エリア数は多くて数千程度。 ●設備投資を伴うためエリア拡大は慎重 ●AP設置先へ設置料を支払う場合も
利用料が安い <ul style="list-style-type: none"> ●APを1980円で販売 ●AP開放者は無料でサービス利用可能 	利用料が比較的高い <ul style="list-style-type: none"> ●月額1000円以上かかるケースも
対応エリアは住宅街が中心 <ul style="list-style-type: none"> ●エリア展開はユーザー次第 	対応エリアは駅やカフェが中心 <ul style="list-style-type: none"> ●人が集まる場所を優先してエリア展開
PC以外の端末利用に期待 <ul style="list-style-type: none"> ●無線LAN搭載のゲーム機やPDAなどの利用を想定 	利用はPCが中心 <ul style="list-style-type: none"> ●出張時に駅などでネット接続するユーザーが大半
通信以外で収益を上げるビジネスモデル <ul style="list-style-type: none"> ●FONのポータルサイト上での広告収入 ●FONへの接続を希望する端末メーカーからの収入など 	通信料で収益を上げるビジネスモデル <ul style="list-style-type: none"> ●単体での事業化は難しく、他の通信の補完手段としての位置付け

AP：アクセス・ポイント

大前研一氏の「第69回モバイルの風を起こすのはだれ — FON、iPhone、イー・モバイル」より引用

FON生まれ&育ち

- 2005年11月にスペインで設立されたベンチャー企業
- 創業者はマーティン・バーサフスキー (Martin Varsavsky)。
- ・ 2006年2月 - Index Ventures、Sequoia Capital、Google、Skypeなどが合計で1,800万ユーロ (約25億7,000万円)を出資し話題になる。
- ・ 2006年8月 - 日本法人「フォン・ジャパン」設立。
- ・ 2006年12月 - 日本での運用を本格的に開始、専用ルータ「ラ・フォネラ」を販売開始する。
- ・ 2007年3月 - Google、Skypeに加え、伊藤忠商事やエキサイトなど日本企業より新たに1,000万ユーロの出資を受ける。

FONの概要



- ・ 会員同士が家庭で利用している無線LANルーターを公衆アクセスポイント (AP) として開放、共有する相互扶助運動
- ・ 2005年11月、スペインでFONテクノロジー社設立
- ・ 2006年12月時点で、欧州中心に世界144ヶ国で展開、AP数約4万、会員数約19万
- ・ Google, Skypeが出資

"Fonero" = FON会員

Linus	Aliens	Bills
<ul style="list-style-type: none"> ・ LaFoneraと呼ばれる専用無線LANルーターを購入し、APを無償提供 ・ Linus会員は他のAPを無料で利用可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分ではAPを設置せず、FONのAPを使用料を払って利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置したAPを有料提供、使用料から報酬を受取る ・ 自分が他のAPを利用する場合は有料

日本
・06年12月サービス開始 専用ルーター (1,980円)

日本
・2~3万のAP数を目標にサービス予定

日本
・電気通信事業法に抵触 有償サービスには届出が必要)

資料: FONホームページ、各種記事より作成

© EIT Research Institute All Rights Reserved.

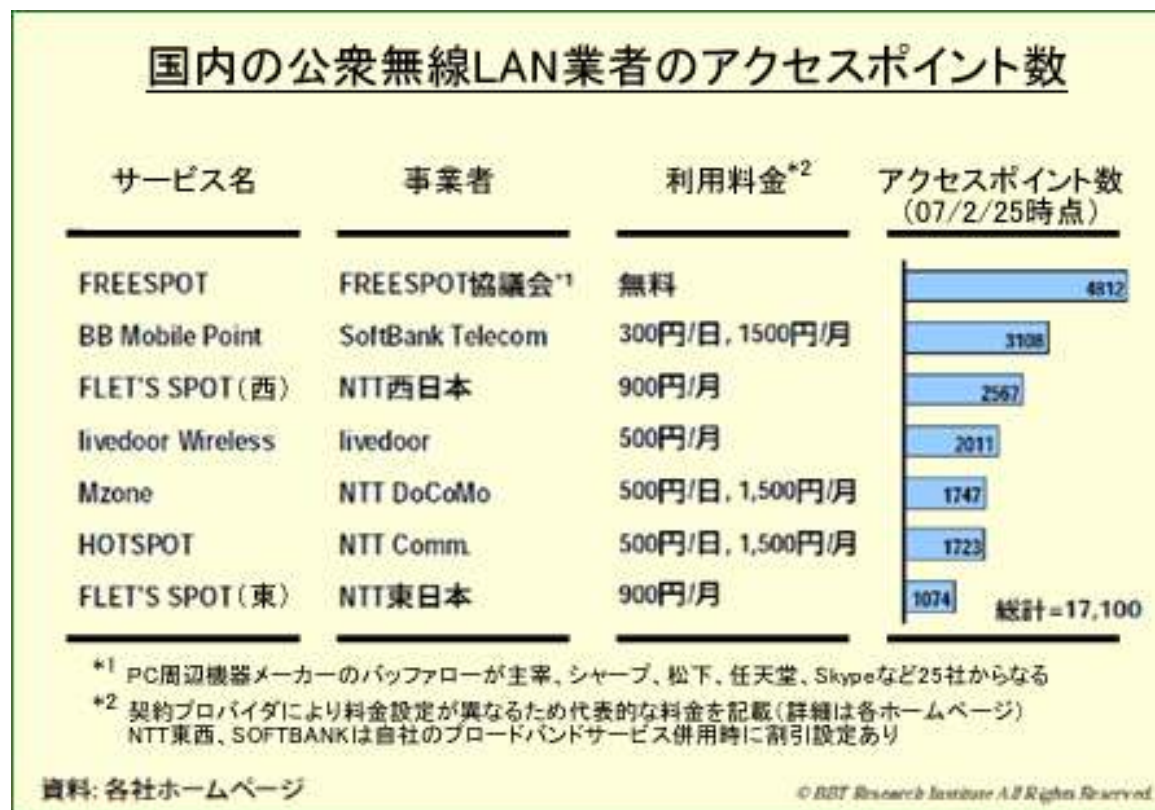
大前研一氏の「第69回モバイルの風を起こすのはだれ — FON、iPhone、イー・モバイル」より引用

Alienについては2007年夏開始予定となっている。
(今のところ実施の具体的な日程は明らかになっていない)

今後の展開は？3つの懸念

- 本当に普及するか？
(公衆無線LANの将来性)
- 法的な問題(国内問題)はどうか？
- 技術の限界

公衆無線LANの普及度(国内)



大前研一氏の「第69回モバイルの風を起こすのはだれ — FON、iPhone、イー・モバイル」より引用

公衆無線LANの普及度(海外)

20 meilleurs pays

Pays	Nombre	actifs	%
Allemagne	20619	7468	36.22%
Japon	12807	7140	55.75%
France	9281	3471	37.40%
Espagne	10805	3178	29.41%
Suède	7187	2801	38.97%
États-unis	9596	2657	27.69%
Taiwan	5247	2420	46.12%
Italie	7271	1983	27.27%
Pays-Bas	3669	1609	43.85%
Corée, république de	6219	1489	23.94%
Finlande	2286	955	41.78%
Royaume-Uni	2397	798	33.29%
Suisse	1469	621	42.27%
Hong Kong	2221	618	27.83%
Danemark	1396	552	39.54%
Autriche	1486	543	36.54%
Belgique	966	334	34.58%
Hongrie	692	332	47.98%
Portugal	1601	281	17.55%
Canada	625	233	37.28%

<http://www.francofon.fr/myiframe-index.iframeid-4-export-gps-poi-fon.htm>

提携しているプロバイダ

- BB.excite
- isao.net
- INTERLINK
- Brastel Internet Provider
- i-revo
- <http://www.atmarkit.co.jp/fnetwork/column/narumono15/01.html>

(2007年6月現在)

法的な問題（国内問題）

■ 日本のISPの利用規約

『事業者が無断で通信回線やインターネット接続アカウントを他人に提供してはならない』、などの契約約款が存在する場合がある。

- 他人という言葉
- アカウントの提供

解釈の余地があり、FONを利用する迄に自身が契約しているISPでFONを利用することが承諾されていることかどうか確認しておくことが推奨される。

- 業として他人に無線アクセス回線を提供する場合、利用者は電気通信事業法の適用を受ける。そのため、Billサービスの提供が容易ではないことから、日本国内ではBillサービスは行われていない。

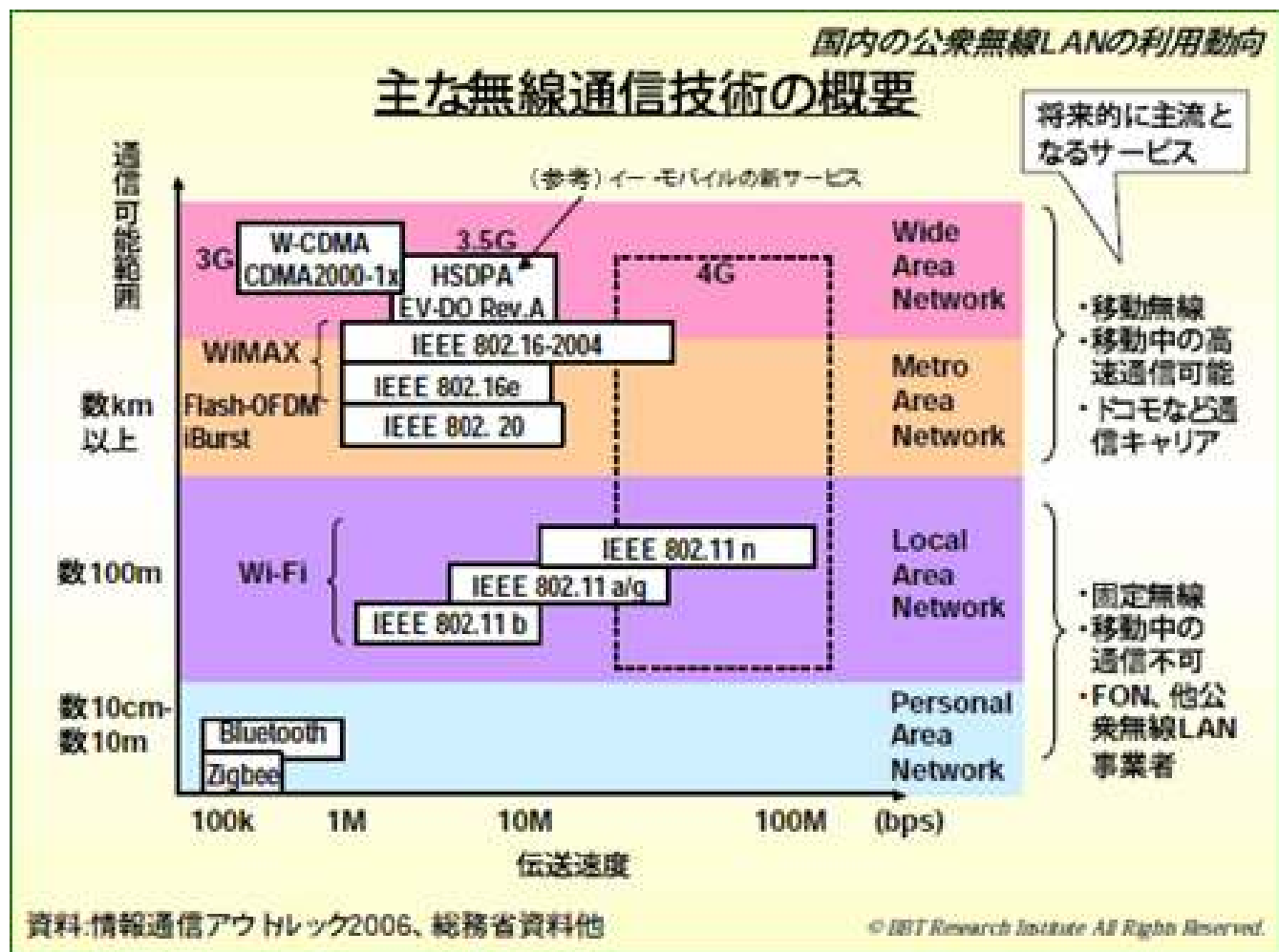
法的な問題(具体的には)

- ソフトバンクは、「FONの利用は規約違反になる。FONユーザーを当社が把握することが可能か技術的な検証をしている最中」
- @nifty 会員規約第18条 2項に反する行為に該当する可能性が高いと認識しております。ただ、「FON」の利用形態等の詳細については、不明な点もございますため、現時点では、弊社会員規約に明確に反する行為とまでは判断しておりません。そのため、誠に恐れ入りますが、現時点での「FON」の利用につきましては、ご自身の判断でご利用くださいますようお願いいたします。
- NTT東西は、今回フォンに出資したエキサイトの主要株主であり、表向きとは別の可能性も持っている。

技術の限界

規格	周波数帯	公称速度
802.11a	5.15～5.25GHz	最大54Mbps
802.11b	2.4～2.5GHz	11Mbps / 22Mbps
802.11g	2.4～2.5GHz	54Mbps
802.11n	2.4GHz / 5GHz	100Mbps～
802.16		

「Wi-Fi技術からWiMAXという次世代型の無線LANへ」
という流れ



大前研一氏の「第69回モバイルの風を起こすのはだれ — FON、iPhone、イー・モバイル」より引用